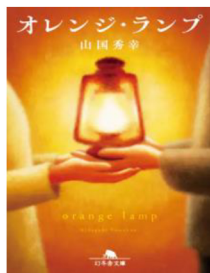


年の初めに心が温まるお話はいかがですか

『オレンジ・ランプ』

著者：山国秀幸
出版社：幻冬舎文庫
請求記号：913.6/ヤマク



ある日、僕は認知症と診断された。

まだ、39歳だった――。

実話をもとに描く、

夫婦の9年間の軌跡。

僕は39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された。車の営業として働き盛りだった僕はその事実を受け入れられない。だが、ある日、顧客の顔を忘れ、会議を忘れ、とうとう自宅への帰り道も忘れてしまった。いつか大切な家族のことも忘れてしまうのだろうか。「人生、もう終わり」。そう思っていたが……。

実在の人物をモデルにした感動の物語。

ハート ウォーミング 小説特集

『街角ファンタジア』

著者：村山早紀
出版社：実業之日本社
請求記号：913.6/ムヤマ



世界は「優しい奇跡」に満ちている。失恋したての青年、亡き祖父を想う少女、不器用な本好きの少年、未来が

不安な女性ライター……。昭和から令和まで時代を越え、街の片隅で暮らす人々のそれぞれの心の傷が、優しい魔法で癒やされていく。ささやかな出会いと別れの中、心に寄り添い、そっと明かりを灯す奇跡たち。愛に包まれた全5話、珠玉の短編集です。

『お探し物は図書室まで』

著者：青山美智子
出版社：ポプラ社
請求記号：913.6/アヤマ



仕事や人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた小さな図書室。

不愛想だけど聞き上手な司書さんが、彼らに一風変わった選書をしてくれます。

自分が本当に「探している物」に気がつき、明日への活力が満ちていく、心温まる小説です。

『本日は、お日柄もよく』

著者：原田マハ
出版社：徳間書店
請求記号：913.6/ハラダ



OLの二宮こと葉は、友達の結婚式で涙があふれるほど感動する衝撃のスピーチに出会う。それは、伝説のスピーチライター・久遠久美の祝辞だった。魅了されたこと葉はすぐに弟子入りを決意するが……。未来を変えるスピーチの魔力と言葉の持つ強い力をあらためて感じられる、感涙必至の一冊です。